

# 「共に育ちあう」活動をめざして

## ～子育て支援G「ぽかぽかひろば」で育まれるもの～

### 1. 子育て支援グループ「ぽかぽかひろば」とは

東京家政学院大学・町田キャンパスには、毎月2回金曜日、幼い子どもたちとお母さんやお父さんたちの笑顔あふれる場所があります。それが「ぽかぽかひろば」です。「ぽかぽかひろば」は地域在住の乳幼児(0～3歳の未就園児)とその家族(親・きょうだい等)を対象とする親子参加型の地域子育て支援グループ活動です。

近年、少子化や核家族化など子育て家庭を取り巻く環境や生活が変容する中、育児不安や虐待など子育てにかかわる諸問題も多様化、深刻化しています。特に0～3歳の未就園の乳幼児にとって、家庭以外に親子で安心して過ごせる場所は決して多くありません。ともすると地域社会において親子共に孤立しがちです。「ぽかぽかひろば」では、親と子がほっとできるような「居場所」となるように、親と子・学生・教員ら参加者全員が「共に育ちあう」子育てを大切にしています。

活動は学内のプレイルームや町田キャンパスの豊かな自然の中で行われ、参加者は一人ひとりの子どもたちの成長や個性を大切に、共にゆったりとした時間を過ごしていく中で心豊かで多様なかわり体験を積み重ねていきます。

同活動は「児童臨床実習AⅠ・AⅡ」という児童学科4年次の専門科目でもあり、学生自身が主体となって毎回の活動計画の立案と準備、保育だよりの発行を行っており、保育者・教員養成の役割も担っています。子どもたちが自由に遊びを展開する傍ら、保護者が話し合ったり情報交換したりする場も設けられ、学生たちはご家族の思いに寄り添いながら子育て支援・家族支援について実践的に学んでいきます。(表1)

活動開始当初は寝返りもできなかった赤ちゃんがやがて座れるようになり、ついには自分の力で立って歩き始め、一生懸命片言で思いを伝えようとしてくれる…こうした子どもたちの成長のプロセスを1年間通して保護者と共に見守り続ける時間は、学生にとって貴重なかけがえのない経験です。

子育て支援というと、子育ての大変な面ばかりがクローズアップされがちですが、「共に喜ぶ」こともまた大切な支援であることを、学生たちは「ぽかぽかひろば」の活動を通して学んでいきます。



表1 1回のおもな活動の流れ

時間	おもな活動の流れ
10:40	活動開始(ぽかぽかひろばオープン) 【親子合同活動・前半】 ・参加児の名前呼び ・自由遊び
11:15	【親子分化活動】 ・親グループ活動「ぽかぽかサロン」 (サロンコーナー) ・子グループ活動(自由遊び)
11:40	【親子合同活動・後半】 ・手遊び・歌遊び(スポットタイム) ・さよならの歌
12:00	ひろば終了
12:45	*終了後、希望者は自由に昼食休憩 全活動終了

\*時間はおおよその目安

\*コロナ感染予防のため、現在はプレイルーム内の昼食休憩は設けていない。

## 2. Withコロナからafterコロナの時代の子育てを考える

コロナ禍3年目となった令和4（2022）年度の活動は、久しぶりに全ての活動を学内で対面で実施することができました。コロナ禍により、ぽかぽかひろばもまた学内での活動を制限せざるを得ず、特に1年目の令和2（2020）年度は全面的に対面授業が中止となった期間が長く、自分たちにできる子育て支援活動は何か、学生と共に手探りの中での活動となりました。リモート会議システムを使ってのオンラインひろば活動や、手遊び・制作・絵本の読み聞かせなどの学生手作りの動画コンテンツなど、学生も教員も参加親子も新しい挑戦の連続でした。

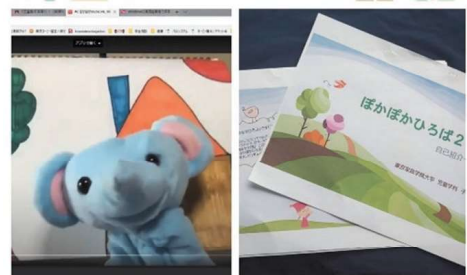
2年目の令和3（2021）年度の活動は感染状況を踏まえつつ、対面活動とオンライン活動を交えながらの活動となりました。1年目の経験を元に、対面でもオンラインでも柔軟に対応できるよう準備を整え、履修学生の保育実習や教育実習の経験も取り入れてぽかぽかひろば用の感染予防対策マニュアルも作成しました。

令和4年度の「ぽかぽかひろば」に参加した0～3歳の子どもたちは皆、コロナ禍の中で生まれた子どもたちです。さまざまな社会的な制限の中、不安を抱えながら妊娠・出産を経験し、withコロナの時代での子育てを余儀なくされている今の親たちは、先の見通しがもてない状況の中、自分たちが過ごした子ども時代とは異なる社会状況の中、何を大切にしたらいいのか、問い続ける日々です。

一方、令和4年度参加の学生たちは、学生生活の中心ともいえる2年次・3年次の2年間でコロナに翻弄されながら過ごしてきました。本来、対面で受けるはずだった実習授業や実習指導もオンライン授業となり、実践経験が十分とはいえない中で学外の保育実習や教育実習に臨まざるをえませんでした。

久しぶりに対面で実施できた令和4年度の活動では、感染予防のための活動上の制約はありましたが、親子も学生も、直接対面で同じ空間と時間と思いを共にできることの喜びにあふれていました。

今回参加した学生全員が、春から保育や教育、福祉の現場へと巣立っていきます。「ぽかぽかひろば」での活動を通して保護者の思いを直接受け取り、子どもたちの成長を共に見守った経験を生かして、withコロナからafterコロナの時代の子育ての支え手として活躍していくことでしょう。



### プロジェクト概要

- テーマ  
地域子育て支援グループ活動  
「ぽかぽかひろば」
- 授業名  
児童臨床実習AⅠ・AⅡ  
(児童学科4年次専門科目)
- 担当教員  
現代生活学部 児童学科  
准教授 柳瀬 洋美
- 実施期間  
令和4年4月～令和5年3月  
(平成19(2007)年設立)